

## 平成28年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報			
事務事業名	文化財保護審議会開催事業	担当課	生涯学習課
総合計画 政策	こころ豊かに暮らせるまち	計画期間	昭和52年度～平成28年度
施策	生涯学習の推進	種別	法定事務
基本事業	文化財を愛する心の育成	市民協働	企画立案への参画
予算科目コード	01-100402-01 単独	根拠法令・条例等	文化財保護法 守谷市市文化財保護条例、守谷市文化財保護審議会条例

なぜ、この事業を実施しているか？ 何をどうするための事業か？	
背景（なぜ始めたのか）	内容（何の業務活動をどのような手法で行うか）
文化財の保護・活用に関する施策を適正かつ効率的に実施するため、審議会を開催する。	
・市指定文化財の指定または解除に関する諮問に対し、意見を答申する。 ・市が行う文化財の保護・活用に関する施策について、意見を述べる。 ・出席委員には、報酬及び費用弁償を支払う。	
目的及び期待する効果（誰（何）をどうしたいのか）	
先人が残した貴重な遺産である文化財を適切に保護・活用し、地域の活性化に資する。	
(参考) 基本事業の目指す姿	
地域の貴重な文化財を後世に継承し、活用する。	

事業の課題認識、改善の視点（次年度にどう取り組むか）	
目的達成のための課題（問題点、現状分析、課題設定）	具体的な内容とスケジュール
改善内容（課題解決に向けた解決策）	
次年度のコストの方向性（→その理由）	
<input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 削減	

前年度の評価（課題）を受けて、どのように取り組んだか（今年度の振り返り）	
前年度の評価（課題）	今年度の取組（評価、課題への対応）
審議委員の任期満了に当たり、委員を2名削減する。	委員選出区分のうち有識者と関係機関の代表各1名を削減した。

評価（指標の推移、今後の方向性）					
指標名	基準値（H26）	H27年度	H28年度	H29年度	目標値（H33）
文化財保護・活用事業実施数（事業）	11.00	9.00	8.00	0.00	0.00
審議会開催回数（回）	2.00	2.00	2.00	2.00	2.00
成果の動向（→その理由）					
■向上 □横ばい □低下	委員2名の削減により、報酬及び費用弁償が削減できた。 また、委員の選任に当たり、専門的・総合的な見地から調査審議を行うために幅広い分野の学識経験者を選任したこと、審議会が活性化した。				
今後の事業の方向性（→その理由）					
□拡大 □縮小 □維持	事業評価を総合的かつ効率的に行うため、平成29年度に文化財保護事業と統合する。 ■統合 □改善・効率化 □廃止・終了				

コストの推移						
項目		H26年度決算	H27年度決算	H28年度決算	H29年度予算	H30年度見込
事業費	計	145	116	113	0	0
	国・県支出金	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0
	一般財源	145	116	113	0	0
正職員人工数（時間数）	0.00	0.00	101.00	0.00	0.00	
正職員人件費	0	0	414	0	0	
トータルコスト	145	116	527	0	0	

## 平成28年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報			
事務事業名	文化財保護事業	担当課	生涯学習課
総合計画 政策	こころ豊かに暮らせるまち	計画期間	昭和46年度～
施策	生涯学習の推進	種別	法定事務
基本事業	文化財を愛する心の育成	市民協働	委託事業
予算科目コード	01-100402-02 単独	根拠法令・条例等	文化財保護法 守谷市文化財保護条例

なぜ、この事業を実施しているか？ 何をどうするための事業か？	
背景（なぜ始めたのか）	内容（何の業務活動をどのような手法で行うか）
文化財保護法により、先人が残した貴重な遺産である文化財を適切に保護・活用し、未来に伝えていくことが義務付けられている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・文化財保護審議会の答申に基づき、市内の文化財（未指定含む）に関する調査・評価を行い、特に価値の高いものについては指定（市、県）や記録保存等の措置を取る。</li> <li>・展示会や講座を開催したり図書類を刊行し、文化財や郷土史の理解を深める。</li> <li>・指定史跡や天然記念物の維持管理を行う。</li> <li>・埋蔵文化財の所在が見込まれる土地で土木工事等が行われる場合には、事前に試掘調査を行う。</li> </ul>
目的及び期待する効果（誰（何）をどうしたいのか）	
市内に存する有形無形の文化財を保護し、未来に伝えていく。また、適切に活用することで文化財愛護や郷土理解の心を育てる。	
（参考）基本事業の目指す姿	
地域の貴重な文化財を後世に継承し、活用する。	

事業の課題認識、改善の視点（次年度にどう取り組むか）	
目的達成のための課題（問題点、現状分析、課題設定）	具体的な内容とスケジュール
改善内容（課題解決に向けた解決策）	
次年度のコストの方向性（→その理由）	

<input type="checkbox"/> 増加	
<input type="checkbox"/> 維持	
<input type="checkbox"/> 削減	

前年度の評価（課題）を受けて、どのように取り組んだか（今年度の振り返り）	
前年度の評価（課題）	今年度の取組（評価、課題への対応）
<ul style="list-style-type: none"> <li>市指定文化財の周知と文化財の愛護思想の啓発を図る。</li> <li>平成29年度から文化財保護審議会開催事業と統合し、効率的な事業評価を行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>文化財保護強調週間の取組として、小学生以上の親子10組を対象に、「縄文クッキーを作ろう」を実施し、市内で出土した石器を紹介するなど、文化財の愛護思想啓発を図った。</li> <li>平成29年度から文化財保護審議会開催事業と統合するため、事務事業の整理を行った。</li> </ul>

評価（指標の推移、今後の方向性）					
指標名	基準値（H26）	H27年度	H28年度	H29年度	目標値（H33）
市内の指定文化財件数（有形）（件）	20.00	20.00	20.00	20.00	22.00
市内の指定文化財件数（無形）（件）	0.00	1.00	1.00	1.00	1.00
成果の動向（→その理由）					
<input type="checkbox"/> 向上 <input checked="" type="checkbox"/> 横ばい <input type="checkbox"/> 低下	市内遺跡、遺構の想像復元模型など郷土資料展示コーナーの活用や見学者が少ない状況にある。今後、展示コーナーの再整備と更なる郷土資料の周知と保存に取り組み、成果の向上を図る。				
今後の事業の方向性（→その理由）					
<input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 維持	<input checked="" type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止・終了         先人が残した貴重な古文書の保管場所を確保すると共に、調査・研究を進める必要がある。様々な方法でより多くの市民に、市指定文化財を周知する必要がある。				

コストの推移						
項目		H26年度決算	H27年度決算	H28年度決算	H29年度予算	H30年度見込
事業費	計	677	1,321	911	1,032	1,032
	国・県支出金	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0
一般財源		677	1,321	911	1,032	1,032
正職員人工数（時間数）		0.00	0.00	1,058.00	0.00	0.00
正職員人件費		0	0	4,338	0	0
トータルコスト		677	1,321	5,249	1,032	1,032